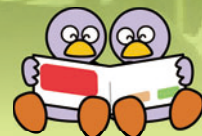


CoREF×埼玉県「県立高校学力向上基盤形成事業」平成22年度報告会 ひとりひとりの学びが輝く

「県立高校学力向上基盤形成事業」では、埼玉県教育委員会と東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 (CoREF) が連携し、高等学校の先生方と大学研究者が共同開発した協調学習型の授業を実践してきました。1年間の取組を検証するとともに、来年度への展望を描きます。



埼玉県のマスコット「コバトン」

10:00-10:10

10

開会挨拶

前島 富雄（埼玉県教育委員会教育長）

10:10-10:20

10

報告「協調学習の概要について」

三宅なほみ（東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 副機構長）

10:20-11:30

70

対談「高校生が学びのこぼれを取り戻すために～認知科学と学習科学から～」

橋田 浩一（独立行政法人 産業技術総合研究所 社会知能技術研究ラボ長）× 三宅なほみ

11:30-12:10

40

ビデオによる授業実践の解説 ①

～国語「高瀬舟」「歌物語を作ろう」を題材に～

12:10-13:40

●

休憩

高校生による SPP*ポスターセッション @ホワイエ内ギャラリー2
※サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト

13:40-14:05

25

ビデオによる授業実践の解説 ②

～理科「染色体地図」を題材に～

14:05-14:30

25

ビデオによる授業実践の解説 ③

～英語「カレンダーはなぜ必要か」を題材に～

14:30-14:40

●

休憩

14:40-15:25

45

質疑応答と公開討論

15:25-15:35

●

休憩

教材開発や授業実践について、担当した教員の生の声を聞きたいという方はこちらへ

15:35-16:30

55

担当教員等による教科別ラウンドテーブル（会場：講座室等）

or

協調学習体験型 ミニワークショップ（会場：文学ホール）

まずはジグソー法を体験してみたいという方はこちらへ

協調学習の教材を用いた高校の授業をビデオで見ながら、東大 CoREF 研究スタッフが授業を行った教員とともに、生徒の反応や授業の成果などについて解説します。



平成22年7月10日東京大学にて行われた授業実践の解説風景

※終了後、17時頃より懇親会を予定しています。申込みの際に出欠をご明記ください。会費(2千円)は当日会場にて申し受けます。

平成23年 1月29日(土) 10:00～16:30

入場無料

定員
200名

さいたま文学館 文学ホール (〒363-0022 埼玉県桶川市若宮 1-5-9)

<http://www.saitama-bungakukan.org/> ※JR 高崎線 桶川駅より 徒歩5分

お申込み

<http://coref.u-tokyo.ac.jp/event>

※学校等ご関係の皆様へ

埼玉県教育委員会からご案内を受け取られている方は、お手元の申込用紙により埼玉県教育局 高校教育指導課へ FAX (048-830-4959) でお申込みください。お問い合わせ: 埼玉県教育局 高校教育指導課 TEL.048-830-7391

【主催】埼玉県教育委員会、東京大学 大学発教育支援コンソーシアム推進機構 (CoREF)

※駐車場 96台 / 30分 100円 (1時間まで無料)

※当日の様子は写真・ビデオ撮影いたします。写真・動画は、大学発教育支援コンソーシアム推進機構が関与するWebサイト等の広報手段、講演資料、書籍等に許諾なく用いられる場合があります。マスメディアによる取材に対しても、許諾なく提供することがあります。



車で来館の場合は、あかしや通りから入ります。

JR 高崎線「桶川駅」西口より 徒歩約5分

ひとりひとりの学びが輝く

平成23年1月29日(土) 10:00～16:30 於:さいたま文学館 文学ホール

埼玉県「県立高校学力向上基盤形成事業」～埼玉県教育委員会と東京大学による協調学習研究連携～

「協調学習」による授業改善の理論、ビジョンを主眼において研究・連携を行っています。平成22年度の対象教科・研究推進指定校などは以下の通りです。

研究・実践対象教科 国語、社会(地歴)、数学、理科、英語、美術

研究推進指定校 浦和高等学校、大宮光陵高等学校、春日部女子高等学校、越ヶ谷高等学校、越谷北高等学校、秩父高等学校、戸田翔陽高等学校、富士見高等学校、吉川高等学校(50音順)



埼玉県のマスコット「コバトン」



研究推進指定校の分布(埼玉県)

協調学習とは

他者との関わりを通して多様な考えを活かしながら、各自が自分なりの理解を深めていくような学習です。CoREFとの連携では、「ジグソー法」という手法を用いて教材を開発して、実践・評価し、よりよい授業実践へとつなげています。

12:10～13:40 高校生によるSPP*ポスターセッション(ホワイエ内ギャラリー2にて)

埼玉県では、多くの学校がSPPに参加しています。当日は高校教育指導課の下記の5つの事業が、高校生によるポスターセッションの形式で発表を行います。ぜひご覧ください。

テーマ:「科学技術と産業」「開発途上国と環境問題」「食と運動の科学—健康な食生活を目指して」
「科学体験講座—鉄道から学ぶ技術」「コミュニケーション能力育成のための科学」

※SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)

独立行政法人科学技術振興機構(JST)による事業で、児童生徒の科学技術、理科・数学に対する興味・関心と知的探求心等を育成することを目的として、学校等と大学・科学館等との連携により、科学技術、理科・数学に関する観察、実験、実習等の体験的・問題解決的な学習活動に対して支援を行うものです。

お申込み <http://coref.u-tokyo.ac.jp/event> より申込みフォームにて受付中

※学校等ご関係の皆様へ

埼玉県教育委員会からご案内を受け取られている方は、お手元の申込用紙により埼玉県教育局高校教育指導課へFAX(048-830-4959)でお申込みください。お問い合わせは、埼玉県教育局高校教育指導課(TEL.048-830-7391)にお願いします。